



令和5年度

要 覧

「愛あふれ 明日を拓く 香南っ子」



香南市教育研究所

目 次

1 香南市教育研究所 基本方針等	1
2 香南市教育研究所の構成	3
3 香南市教育研究所の機構(香南市教育研究組織)	4
4 香南市教育研究所経営グランドデザイン	5
4 令和5年度 事業計画	6
5 令和5年度 新規事業	8
6 香南市教育研究所設置条例	14
7 香南市教育研究所設置条例施行規則	15
8 香南市教育研究所沿革史	17

I 香南市教育研究所 基本方針等

(1) 基本方針

香南市教育研究所は、「こどもまんなか社会の実現」を目指し、香南市の教育の改善と向上を図ることを目的として、香南市教育振興基本計画に基づいた重点施策に係る調査研究と幼児・児童生徒への支援、教職員研修の体系化等の事業を展開する。

(2) 研究テーマ

令和の日本型学校教育で求められる教師の資質能力の育成支援
～ 子どもを中心に据えた保幼小中連携を基盤として ～



(3) 運営方針

- ① 保幼小中連携に関する調査研究や実践研究を行い、香南市の教育課題の解決に資する。
- ② 保育所、幼稚園及び小中学校のニーズに応じた調査研究や実践研究を行い、香南市内保幼小中の組織経営に資する。
- ③ 不登校問題を中心に据えて、生徒指導上の諸課題や特別支援教育等の調査研究や実践研究を行い、香南市の子どもたちの健やかな成長に資する。
- ④ 学力調査を基に香南市の子どもたちの学力実態を把握し、授業改善に関する調査研究や実践研究を通して学力向上に資する。
- ⑤ 保育・教育に関わる研修機関や調査機関等の関係機関との連携を図りながら、香南市内保幼小中教職員の研修の体系化を図る。

(4) 重点取組

①中央教育審議会答申(「令和の日本型学校教育」の構築を目指して ～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～)で示された「令和の日本型学校教育」を担うために、これからの教師に求められる資質能力の育成を支援する取組を進める。

○ 教職に必要な素養

- ・ 香南市内小中学校を対象とした初任者集合研修の実施やメンター制度に関わる事業支援を行うとともに、香南市内保幼小中教職員の資質向上に関する研修への取組を支援する。
- ・ 講師招聘研修や担当者会等の内容について、所報等を活用して情報提供を行い、「令和の日本型学校教育」で示された子どもの学びや育ちを支える教師としてのあり方や学習指導、生徒指導等について周知する。

○ 学習指導

- ・ 高知県教育委員会が行う授業づくり講座等の学習指導要領に基づいた授業づくりを支援するとともに、「個別最適な学び」や「協働的な学び」に関わる調査研究や実践研究を進め、各校の授業改善や子どもたちの学力向上への取組を支援する。
- ・ 香南市小中学校授業づくり実践研究講座を学校と連携しながら実施し、「令和の日本型学校」を支える教師の学習指導のあり方について研修する機会を提供する。
- ・ 外国語教育担当者会等への参加や実施支援を通して、ALT や各校の外国語担当等と連携しながら、保幼小の外国語活動及び小中の外国語の授業改善や関連した取組を支援する。
- ・ 社会科副読本「香南のくらし」のデジタル化及びデジタル資料集の作成に関する諸事務を行い、小学校中学年の授業実践に対する支援を行う。

○ 生徒指導

- ・ 小学校ほっとスタート実践研究事業（香南市内全小学校）をはじめ、不登校等の未然防止に関連した取組を支援する。
- ・ 保幼小中・家庭・地域連携担当者会や保幼小連携・接続担当者会への参加や実施支援を通して、各校の魅力ある学校づくり等の取組を支援する。
- ・ 保幼小のアプローチカリキュラムやスタートカリキュラムの調査研究を通して、保育所や幼稚園での子どもの育ちを、円滑に小学校へ引き継ぐことのできる連携や接続のあり方について検証する。
- ・ 道徳教育担当者会を核として、各校の道徳教育の推進や授業実践に対する支援を行う。
- ・ 生徒指導担当者会等への参加や実施支援を通して、各校における生徒指導の充実を支援する。

○ 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応

- ・ タブレット端末を活用した認知能力の向上等に関する実践研究事業（赤岡小・野市小・佐古小）における研究支援をはじめ、特別支援教育に関する各校の取組を支援する。
- ・ 配慮や支援を必要とする子どもたちの架け橋期における引継ぎや対応について調査研究を行い、子どもが安心できる連携や接続のあり方について検証する。
- ・ 特別支援教育学校コーディネーター会や特別支援教育支援員等研修会等への参加や実施支援を通して、各校における特別支援教育の充実を支援する。

○ ICT や情報・教育データの利活用

- ・ ミライシードやコグトレオンライン、ライフスキル等、各校で端末を活用して行われている取組を支援し、活用の充実を図る。
- ・ 高知県教育委員会が行う授業づくり講座や、香南市授業づくり実践研究講座における ICT 活用を積極的に支援し、端末活用の充実を図る。
- ・ 教育支援センター「森田村塾」と連携しながら、長期欠席傾向の児童生徒の学習指導や生徒指導への ICT 活用の実践研究を行い、課題の早期解決を支援する。
- ・ 学力調査や各種アンケート調査の分析や検証を行い、分析結果の情報共有を行う。
- ・ 情報担当者会等への参加や実施支援を通して、各校における情報教育や ICT 活用の充実を支援する。

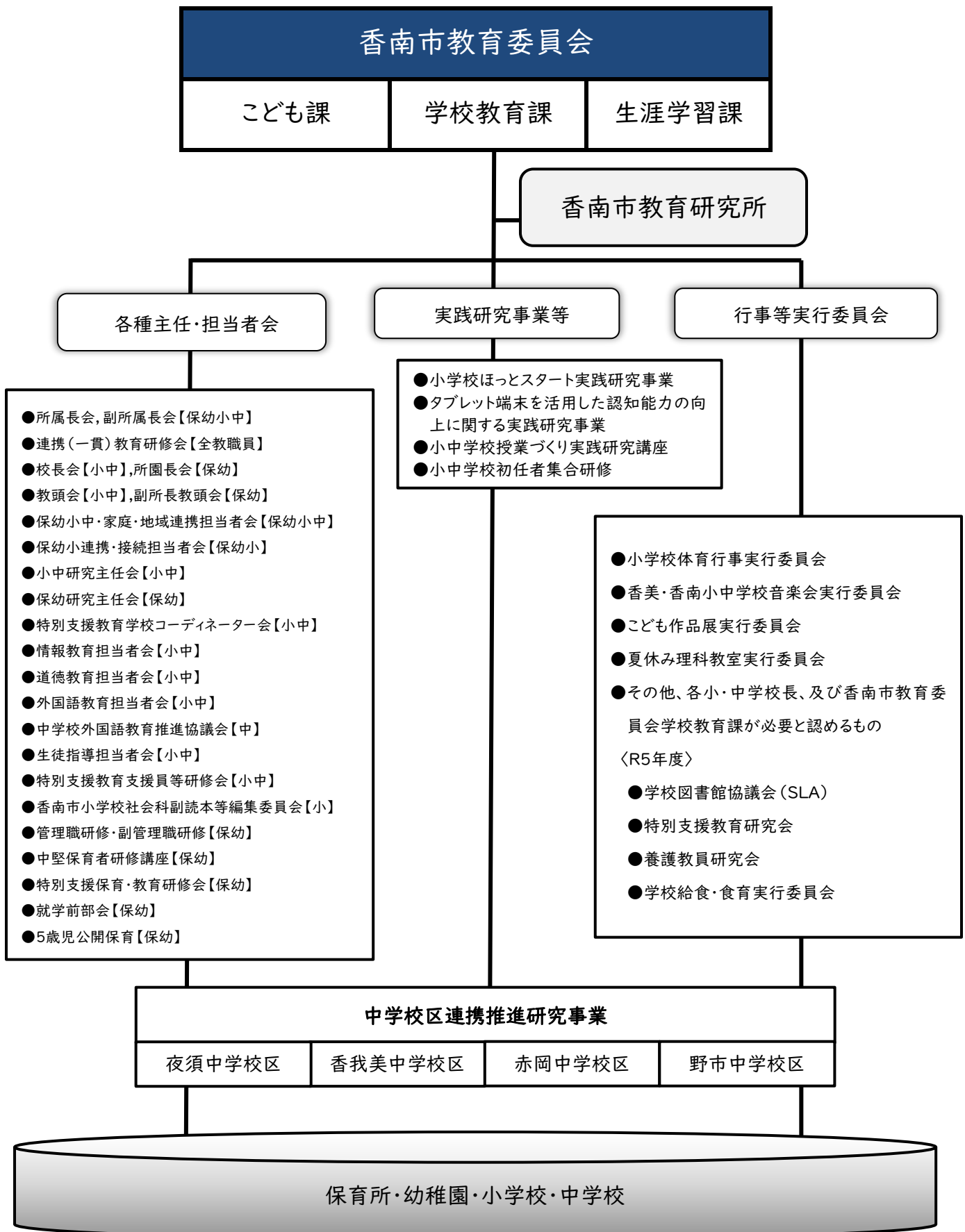
②香南市教育振興基本計画に基づき、保幼小中連携を中心とした子育てや教育の取組に関する調査研究・実践研究を進め、不登校の未然防止や学力の向上等、香南市の教育課題の解決をめざすとともに、保幼小中に対する支援体制の充実を図る。

- 「保幼小中連携モデル地域実践事業」に関わる調査研究や実践研究を通して事業支援を行い、各校の不登校の未然防止への取組を支援する。
- 「中学校区連携推進事業」に関わる調査研究や実践研究を通して事業支援を行い、各中学校区の連携（一貫）教育の充実を図る。
- 「保幼小中連携カリキュラム」の周知を図り、子どもたちの発達段階に応じた自尊感情・規範意識・コミュニケーション能力の育成を支援する。
- 保幼小中・家庭・地域連携担当者会や保幼小連携・接続担当者会をはじめ、各担当者会の実施内容に中学校区の連携や接続に視点を置いた内容をできるだけ設定する。

2 香南市教育研究所の構成

職名	氏名	業務等
所長	こまつ やすき 小松 泰樹	総括
副所長	ほそかわ けんじ 細川 健次	総務(学校教育課教育企画監 兼務)
研究員【野市小学校】	まつい りえ 松井 理絵	保幼小連携・接続に関する調査研究
研究員【野市東小学校】	いまい ゆうすけ 今井 悠介	生徒指導への ICT 活用に関する調査研究
教育推進アドバイザー【外国語教育】	すずき かよこ 鈴木 加代子	小学校外国語活動・外国語並びに中学校英語の支援
香南市小学校社会科副読本等編集コーディネーター	なんば しげゆき 難波 成行	小学校社会科副読本「香南のくらし」等の編集に関するコーディネート

3 香南市教育研究所の機構(香南市教育研究組織)



4 香南市教育研究所経営グランドデザイン

香南市教育振興基本計画
子どもに夢 青年に希望 高齢者に生きがい
基本理念
1. 就学前・学校教育の推進 (1) 保幼小中連携の推進 (2) 家庭や地域と連携した教育の推進 (3) 生きる力と確かな学力の育成 (4) 教育活動を支える体制の充実 (5) 保幼小中の教育環境の充実 2. 生涯学習の推進 (1) 生涯にわたる「まなび」の展開 (2) 「まなび」の拠点の充実 (3) 文化・芸術活動の推進 (4) スポーツの振興 (5) 地域への「まなび」の還元

香南市長の方針
《施策重点項目》
I) 市民の命と暮らしを守る II) こどもまんなか社会の推進 III) 持続可能な地域づくり IV) 多様性を認め合う共生社会づくり V) 未来に向けた大胆な行財政改革

国や県の施策
文部科学省・厚生労働省
<ul style="list-style-type: none"> ● 学習指導要領、保育指針、教育要領 ◆ 小中学校「主体的・対話的で深い学び」 ◆ 保育所・幼稚園「5領域」「10の姿」 ● 令和の日本型学校教育 ◆ 個別最適の学び、協働的な学び ◆ 教師に求められる資質能力 ① 教職に必要な素養 ② 学習指導 ③ 生徒指導 ④ 特別な配慮や支援を必要とする子供への対応 ⑤ ICT や情報・教育データの利活用
高知県教育委員会指定事業
<ul style="list-style-type: none"> ● 保幼小中連携モデル地域実践研究事業 ● 授業づくり講座 ● 小学校英語専科指定校事業 ● 小学校教科担任制実践研究事業 ● 不登校支援推進プロジェクト事業 ● 個別最適な支援をつなぐ校区内連携事業 ● 社会に開かれた生徒指導実践研究事業 ● メンター制を活用した人材育成実践研究事業

明日を拓く香南っ子



香南市教育研究所の役割



《香南市教育研究所基本方針》

香南市教育研究所は、「こどもまんなか社会の実現」を目指し、香南市の教育の改善と向上を図ることを目的として、香南市教育振興基本計画に基づいた重点施策に係る調査研究と幼児・児童生徒への支援、教職員研修の体系化等の事業を展開する。

《香南市教育研究所運営方針》

- 1 保幼小中連携に調査研究や実践研究を行い、香南市の教育課題の解決に資する。
- 2 保育所、幼稚園及び小中学校のニーズに応じた調査研究や実践研究を行い、香南市内保幼小中の組織経営に資する。
- 3 不登校問題を中心に据えて、生徒指導上の諸課題や特別支援教育等の調査研究や実践研究を行い、香南市の子供たちの健やかな成長に資する。
- 4 学力調査を基に香南市の子供たちの学力実態を把握し、授業改善に関する調査研究や実践研究を通して学力向上に資する。。
- 5 保育・教育に関わる研修機関や調査機関等の関係機関との連携を図りながら、香南市内保幼小中教職員の研修の体系化を図る。

5 令和5年度 事業計画

【事業計画の柱となる視点】

◆令和の日本型学校教育で教師に求められる資質能力の育成

- ①教職に必要な素養 ②学習指導 ③生徒指導 ④特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応
- ⑤ICT や情報・教育データの利活用

◆保幼小中(中学校区)連携の推進

◎研究員による調査研究及び実践研究

【今井研究員】(1年目)

課題予防的生徒指導への ICT の効果的な活用に関する研究
～ タブレット端末を活用した認知能力向上に向けた支援を中心として ～

【松井研究員】(2年目)

保幼小の連携・接続の充実を目指して
～ 幼児期から児童期への学びをなめらかにつなぐ ～

◎事業内容

企画実施	…教育研究所が実施に向けて企画立案を主導して取り組む内容
実施連携	…学校教育課等と確認し合いながら企画立案をして取り組む内容
実施支援	…実施主体から依頼を受けて企画立案に協力して取り組む内容
情報共有	…関係機関との情報共有を目的として取り組む内容
運営改善	…業務の効率化を目的として取り組む内容

(1)保幼小中連携に関する内容

実施連携

- 保幼小中連携モデル地域実践研究事業(全保幼小中及び関係機関)2年目/3年間
- 連携(一貫)研修会(保幼小中教職員対象)
- 保幼小中・家庭・地域連携担当者会(年間2回)
- 保幼小連携・接続担当者会(年間3回)
- 香南市保幼小中連携(一貫)カリキュラム(改訂版)、リーフレット(改訂版)の活用

実施支援

- 中学校区連携推進研究事業(全中学校区)
- 保育所・幼稚園の職員研修会、園内研修、公開保育
- 地域学校協働本部事業(全小中学校)
- 保育所・幼稚園での英語活動
- 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)

(2)教職に必要な素養

企画実施

- 香南市初任者集合研修
- 香南市初任者 OJT マニュアルの作成と配付

実施連携

- メンター制を活用した人材育成実践研究事業
(小学校…拠点校:野市小、配置校:香我美小・野市東小)
(中学校…拠点校:野市中、配置校:夜須中)

実施支援

- 小中学校校内研修
- 保育所・幼稚園研究主任会

- 保幼ブロック研修会、園内研修
- 保幼副所属長・中堅保育者合同研修

(3)学習指導

企画実施

- 【新規事業】香南市小中学校授業づくり実践研究講座
- 副読本「香南のくらし」等編集業務及び編集委員会・世話役会
 - ・編集委員会・世話役会等の企画・開催
 - ・副読本「香南のくらし」の一部改訂
 - ・副読本「香南のくらし」デジタル化、デジタル資料集の作成

実施連携

- 外国語教育担当者会の開催(年間2回)及び大学教授による訪問指導
- 中学校外国語教育推進協議会(年間2回)
- 小中学校研究主任会

実施支援

- 「高知の授業の未来を創る」推進プロジェクト事業
 - 授業づくり講座実施支援(拠点校:野市東小一算数、香我美中一国語、野市中一理科)
- 未来を創る 小学校授業づくり推進ティーチャー育成事業(夜須小・香我美小)
- 未来を創る 中学校授業づくり推進ティーチャー育成事業(夜須中・香我美中・野市中)
- 小学校教科担任制実践研究校事業(配置校:野市東小・佐古小)
- 小学校英語専科指導指定校事業実施支援(配置校:野市小)

(4)生徒指導

企画実施

- 【新規事業】香南市小学校ほっとスタート実践研究事業

実施連携

- 生徒指導担当者会(年間1回)
- 道徳教育担当者会(年間2回)

実施支援

- 社会に開かれた生徒指導実践研究事業(夜須中学校区)1年目/2年間
- 不登校支援推進プロジェクト事業(野市中)3年目/3年間
- 個別最適な支援をつなぐ校区内連携事業(野市小)1年目/1年間
- 香南市人権教育研究大会、集約大会

(5)特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応

実施連携

- 教育支援センター「森田村塾」との連携(研究員実践研究、週1回程度派遣)
- 小中特別支援教育学校コーディネーター会(年間2回)
- 小中特別支援教育支援員等研修会(年間2回 支援員対象)
- 特別支援教育アドバイザー、スクールソーシャルワーカー等との連携
- 特別支援教育アドバイザー、特別支援学校教育コーディネーターとの連携

実施支援

- 保幼特別支援担当者等研修会実施支援(年間2回)

(6)ICTや情報・教育データの利活用

企画実施

- 【新規事業】タブレット端末を活用した認知能力の向上に関する実践研究事業



実施連携

- 情報教育担当者会(年間3回)

実施支援

- ICT 支援員による小学校プログラミング教育授業
- 端末を活用したデジタルドリルの活用

情報共有

- 学習到達度把握調査結果(小学校2～6年 国・算、中学校1年 国・数・理、中学校2年 国・数、中学校3年 国・数・英)データの分析調査
- 全国学力・学習状況調査結果(小学校6年・中学校3年 国、算・数)の分析調査
- 高知県学力定着状況調査結果(小学校4・5年、中学校1・2年)の分析調査
- OGTEC(スコア型 英語4技能検定)調査結果(中学校2年生対象)の分析調査
- 英検 IBA(中学校1～3年)及び ESG(小学校6年生)調査結果の分析調査
- 外国語意識調査(小学校3年～中学校3年生)の分析調査
- 香南市子どもの健やかな成長に関する継続的調査(小学校4年～中学校3年)
実施支援(全小・中)6年目/6年間
- 道徳意識調査(小学校1年～中学校3年)の分析調査
- 市内全小中学校の出席簿によるデータの収集(毎月)と分析調査
- 総合質問紙調査(i-check)の分析調査

(7)その他

企画実施

- 指導・研究担当者打合せ会(毎月第3水曜日 13:30～)
- 行事等実行委員会の実施(年間3回)と各実行委員会への開催支援

実施支援

- 所属長会・副所属長会
- 保幼所長・園長会、小中校長会、保幼副所長・教頭会、小中教頭会並びに研修会
- 香南市教育振興基本計画推進協議会
- 中学校組織力向上のための実践研究事業(指定校:野市中学校)
- 地域学校協働本部事業
- コミュニティ・スクール

情報共有

- 教育雑誌の配架と情報提供
- 教育研究所ホームページからの情報提供
- 所報「香南っ子」の発行
- 教育に関する各種資料・情報等の収集、保管並びに提供
- 市広報誌「教育チャンネル」での広報

運営改善

- 香南市教育研究所要覧及び研究紀要の電子化と配付
- 香南市教育研究所ナレッジマネジメントファイルの作成



6 令和5年度 香南市関係新規事業

(1) 香南市ほっとスタート実践研究事業

香南市小学校ほっとスタート実践研究事業 実施要項

香南市教育委員会・香南市教育研究所

1. 目的

本事業は、負担を感じやすい年度当初や学期の始め、週の始め等の時期において、小学校の教育課程に時間的なゆとりを持たせることによって、児童の負担感を軽減するとともに、心の居場所づくりや絆づくりに関わる学校の取組実践を推進することを目的とする。

また、1年生については、就学前の育ちを小学校での能力伸長につなげることができる架け橋プログラム（アプローチカリキュラム及びスタートカリキュラム）を推進するために、保育所・幼稚園・認定こども園等との接続推進を図ることも目的とする。

2. 事業内容

モデル実践校（以下「各校」という）は2学期の始業を8月28日からとする。また、1学期の各週から授業時間数を1時間減じ、8月28日～31日までの間は授業時間を振り替えて4時間授業を行うことによって、2学期をゆるやかにスタートするとともに、ゆとりのある週時程を1学期は編成する。

その際、週始めの負担感を軽減することをねらいとして、各校が減じる授業時間は月曜日の1授業時間を基本とする。但し、各校の教育課程編成において月曜日の授業時間を既に減じている場合は、他の曜日を1授業時間減じる等、事業目的に応じた運用を行うこととする。

各校は、減じたことによって生じた時間を活用して魅力ある学校づくりや児童支援等に関する情報共有等を図るなど、児童の心の居場所づくりや絆づくりの取組実践を学校全体で推進する。

なお、1年生については、週1授業時間減じたことによって生じた空き時間を1学期2回以上、保育所・幼稚園・認定こども園等との接続に関する情報共有等の時間に充てることとする。

《基本的な考え方のイメージ》

1学期各週1時間減 (月曜日1時間を基本とする)															【8月】	【9月】
1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週 祝日	8/28～8/31 4時間×4日=16時間	通常に移行

1学期週1授業時間（計14授業時間）を8/28～31に振替

※振替実施の授業時間が16時間あることから、1学期各週1時間減をした後に生じる余剰の振替授業時間分（図では16-14=2で2時間分）については、1学期のスタート時に午前授業を取り入れたり、9月以降の月曜日を2週は5時間で実施したりするなど、学校の実態に応じ、本事業の目的にそった教育課程を学校長の判断で編成する。

3. 実施期間

2か年（令和5・6年度）

4. 実施校

香南市内の全小学校

5. 検証方法

各校の取組内容を香南市校長会と香南市教育研究所が共有し、児童や保護者、教職員へのアンケート等を実施ながら成果と課題をまとめる。

6. その他

令和6年度の運用及び令和7年度以降の対応については、香南市教育研究所がまとめた調査結果をもとに、香南市校長会と香南市教育委員会で協議のうえ決定する。

休み明けや学期始まりのスタートをゆるやかに！

来年度小学校入学の保護者の皆さまへ

来年度から2か年間、香南市の小学校において、下記の取組を行うことになっています。夏休み期間などが今年度と異なってきますので、来年度入学予定の保護者の皆様にもお知らせをさせていただきます。

香南市教育委員会・香南市教育研究所

香南市小学校ほっとスタート実践研究事業の実施について

【事業の目的】

コロナ禍等の中、学校での生活にしんどさを見せる子どもたちが小学校で増える傾向が見られ出してきました。

子どもたちが負担を感じやすい学期や週の始めに、時間的なゆとりを少し持たせることによって、子どもたちの負担感を軽減するとともに、先生が学期始めや週始めに子どもたちに関わることのできる時間を確保することを目的として、この事業を実施します。

そのことによって、子どもたちがほっとした気持ちで学期や週の始まりをスタートすることができるような態勢づくりを各校で進めます。

また、1年生については、保育所や幼稚園との連携をより密に行い、就学前の育ちを小学校での能力伸長につなげることができるよう取組の充実を図ることも目的としています。

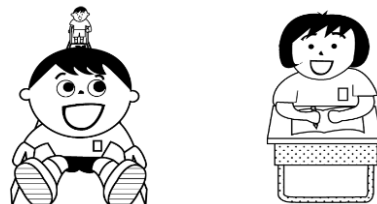
【事業の対象】

香南市内全小学校7校を対象として行います。

【事業の期間】

令和5年度・令和6年度の2年間

※令和7年度以降は2年間の結果を検証したうえで継続実施等の検討をします。



【事業の概要】

◎学年の始めとなる1学期の月曜日の授業を1時間減らします。

※令和5年度1学期の授業日となる月曜日は14日です。合計14時間減らします。

※すでに月曜日授業を減らしている学校は、他の曜日や別の時期の授業を減らします。

※2学期からは通常の授業時間数に戻していきます。

◎8月28日（月）から2学期を始め、午前授業でスタートします。

※1学期に減らした授業時間を夏休みを短くして確保します。（4時間×4日＝16時間）

※8月28日（月）から8月31日（木）までの間も給食はあります。

◎5年度実施の結果をもとに、6年度の実施内容を検討します。

※対象や期間を含め、5年度の実施結果を検証し、6年度案を検討して実施します。

※保護者の方にもアンケートをお願いして、検証の資料にさせていただきたいと考えています。

ご理解とご協力をよろしくお願いします。

(2) タブレット端末を活用した認知能力の向上等に関する実践研究事業

令和5年度タブレット端末を活用した認知能力の向上等に関する実践研究事業 実施要項

香南市教育委員会・香南市教育研究所

1. 現 状

各種の学力調査結果分析から、香南市内児童生徒の「学力の二極化」が継続的な課題となっており、調査結果の分析をもとに、各校が基礎学力定着や学力向上に向けた授業改善を進めているが、思うような成果につながっていない。「学力の二極化」傾向は算数・数学科でより顕著であり、抽象的な思考が必要となる小学校中学年辺りから目立ち始め、学年が上がるに従って顕著となっている。

また、通常の学級での学習の躓きによって不安感が高まり、特別支援学級や通級教室へ入級したり、不登校傾向となったりする児童が増加している。

2. 目 的

小学校1年生～3年生までの間、タブレット端末を活用した認知能力のトレーニングを継続的に行い、認知能力向上の実践を進めながら授業改善の取組とつなげて「学力の二極化」の改善を図るとともに、タブレット端末を活用した授業改善や家庭学習を進め、児童生徒の学力向上に資する。

また、特別支援学級においては、自立活動や教科の中で効果的に活用することを通して認知能力の向上を図り、対象児童の自立支援を促進する。

3. 対象校

《通常の学級》赤岡小学校、佐古小学校

《特別支援学級》赤岡小学校、野市小学校、佐古小学校

4. 対象学年等

特別支援学級、1～3年生通常学級 ※但し、野市小学校は特別支援学級のみとする。

5. 実施期間 2か年（令和5・6年度）

6. 活用ソフト コグトレオンライン（東京書籍）、ライフスキル（レデックス）

7. 活用方法

《コグトレオンライン》○週3回以上活用（朝学活・帯タイム・終学活・家庭学習等）

○紙媒体でのコグトレオンラインで進捗チェック（2週間に1回程度）

《ライフスキル》○集計データをもとに個別比較、自立活動への生活機能助言機能の活用

○発達特性の把握及び保護者との情報共有への活用

8. 検証方法

モデル実践校3校において、2種のソフトを活用した比較実践研究を行い、特別支援学級や低学年の認知能力の向上に適した活用方法について検証する。その際、モデル実践校の実施方法や結果検証を香南市教育研究所が共有し、児童の学力調査結果の経年比較等を通して、相関関係や効果を分析して成果と課題をまとめる。

また、モデル実践校は、端末を活用した授業公開を年間1回以上実施し、香南市内校におけるタブレット端末を活用した実践の推進役を果たす。

《実践研究ソフト対象》

	1年生	2年生	3年生	特別支援学級
赤岡小学校	コグトレオンライン	コグトレオンライン	コグトレオンライン	コグトレオンライン
野市小学校	※対象外	※対象外	※対象外 6	ライフスキル
佐古小学校	ライフスキル	コグトレオンライン	コグトレオンライン	ライフスキル

9. その他

モデル実践校は香南市教育研究所と連携をしながら、令和5年度活用計画をまとめ、香南市教育委員会に提出する。

また、令和5年度末には香南市教育研究所と連携しながら、成果と課題をまとめた報告と次年度活用計画を香南市教育委員会に提出する。その報告及び計画をもとに、香南市教育委員会が令和6年度の実施方法や対象校を決定する。

令和7年度以降の実施については、モデル実践校と香南市教育研究所がまとめた調査結果をもとに、香南市校長会の意見も聴取したうえで香南市教育委員会が決定する。

(3) 香南市小中学校授業づくり実践研究講座

令和5年度 香南市小中学校授業づくり実践研究講座 実施要項

香南市教育委員会・香南市教育研究所

1. 現 状

令和3年度から香南市教育研究会が廃止になったことに伴い、教科・領域の各部会が継続的に行ってきた広域的な授業研究の機会が減少し、学習指導要領にそった「主体的・対話的で深い学び」のある授業づくりを協働的に進め、教員相互が教科指導力を高め合う機会の減少につながっている。

特に、高知県教育委員会が行う授業づくり講座以外の教科においては、そのような協働研究の機会がなくなり、授業力の低下につながりかねない懸念が生じている。

また、教員の大量退職時期に入り、教員採用の門戸が広がって教壇経験の少ない教員が年々増えている。学習指導要領に基づきながら、各教科・領域に応じた授業力を早期に身に付けていくことが必要であるが、教科や領域によっては授業づくりのノウハウを学ぶ機会が少なく、若年教員が日々の授業実践に苦心する傾向が見られる。

2. 目 的

香南市内児童生徒の学力向上を目指し、学習指導要領にそった質の高い授業実践を広げるために、香南市内在籍教員が授業研究を協働的に行う機会を提供し、共に高め合いながら各教科・領域の授業力の向上を図る機運を醸成する。

3. 対象校

香南市内小中学校全校。但し、教員数の少ない吉川小学校については隔年授業公開とする。

※ 授業づくり講座等、他の研究指定を受けて授業づくり研究及び公開授業を行う学校を除く。

4. 対象教科

小中学校の全教科・領域を対象とするが、教科バランスを考えて調整を依頼する場合がある。

5. 実施期間

1か年(1年ごとに対象教科を再調整します)

6. 実施方法

高知県教育委員会が行う授業づくり講座授業研究会に準じ、年間1回以上の実践研究講座として授業公開を行い、実施校の取り扱いは全校研、ブロック研、教科研のいずれかとする。但し、県外講師を招聘して行う場合は、公開授業研究会を年間2回以上実施することとする。

授業づくり講座の教材研究会の内容は、実施校が事前にグループウェアメッセージによる学習指導案の送付等にて周知し、授業研究会参加教員が自校の意見を取りまとめ、実施校担当者にデータ送付する。

授業研究会においては、実践研究講座実施校以外(同校種)は1名以上の参加を基本とするが、教員数の少ない吉川小学校はできるだけ参加調整を行う対応とする。また、授業研究会における事後協議は端末 Jamboard 等)を活用して行い、参加者は授業研究会での研修内容を自校に伝達をする。

学校行事等の兼ね合いで現地参加が難しい場合は、オンラインでの授業・助言の参観、端末を活用した事後検討会への参加とする。

【実践研究講座内容】公開授業、事後検討会、助言指導

7. 研究内容

(1) 各教科の見方・考え方を通して、資質・能力を育成する単元づくり ~指導と評価の一体化~

(2) 授業力の向上 ~授業改善のPDCA~

(3) 人のつながり、学びの高まりの構築 ~他者との交流から学びの質を高める講座

※高知県教育委員会が行う授業づくり講座と同様の内容としています。

8. 助言指導招聘

実践研究講座の講師招聘については、東部教育事務所をはじめ高知県教育委員会事務局からの招聘を基本とする。謝金・旅費を伴う講師招聘については香南市教育委員会と協議のうえ決定する。

(4) 香南市小中学校初任者教員集合研修

令和5年度 香南市小中学校初任者教員集合研修実施要項

香南市教育研究所

1. 現状

初任者研修は法定研修であり、新規採用された教員に対して、採用の日から1年間、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させるため、学級や教科・科目を担当しながらの実践的研修を行うこととされている。しかしながら、学校現場での実践体験がなく採用となる初任者が増える現状の中で、年度始めから多忙な日々を過ごし、研修を十分に受けることができないまま、児童生徒の指導にあたる状況がある。それによって全国的に学級指導や教科指導、保護者対応等がうまくいかずに悩みを抱える初任者が増え、教員を続けていくことを断念する者も出てきている。

香南市では、研修コーディネーターが中心となって各校でのメンター研修が進み、身近での研修の機会が増えることによって、初任者の資質向上を図る態勢が整ってきている。反面、初任者だけで情報共有する機会が少ないことから、同じ立場で語り合える仲間づくりが十分にできていない実態がある。

2. 目的

香南市内校に配置になった初任者教員を対象として集合研修等を行うことにより、初任者教員が1年間の見通しを持って日々の指導や初任者研修に臨むことができる環境を整える。

また、初任者教員同士が顔を合わせて相互の成果や悩みを出し合うことにより、同僚性を持てる環境を整え、日常的な情報交換や学期末ごとの協議を通して、初任者教員の心の居場所づくりを進める。

3. 年間計画

(1) 事前説明面談 3月下旬 ※異動発表後、学校説明会等の来校日に合わせて個別に実施する。

- ・香南市小中学校初任者教員 OJT マニュアルの配付
- ・教員としての心構え及び服務についての説明
- ・第2回の実施についての説明

(2) 第1回(顔合わせ) 4/12(水) 15:50~16:35 ※優先日に合わせて実施する。

- ・香南市教育委員会あいさつ
- ・年間計画の説明
- ・井戸端会議タイム(初任者だけの雑談時間、自己紹介を中心に)

(3) 第2回(集合研修) 7/28(金)午後予定

- ・協議(1学校の振り返り、2学期に向けて)
- ・香南市内フィールドスタディ
- ・井戸端会議タイム(初任者だけの雑談時間)

(4) 第3回(集合研修) 12/26(火)午前予定

- ・協議(2学期の振り返り、3学期に向けて)
- ・井戸端会議タイム(初任者だけの雑談時間)

4. 実施内容

○フィールドスタディ ⇒ 香南市内の社会教育施設や文化財等の視察を中心に、教育活動に関連付けて活用できる研修内容とする。

○協議 ⇒ 学期ごとに授業のビデオ撮りを行い、自己で振り返り等をまとめて情報交換し合う。それぞれが指導上の成果や課題を出し合い、事後の対応に生かす。

○井戸端会議タイム ⇒ 初任者だけの時間を取り、相互の悩み等を情報交換できる時間を確保する。

5. 関連研修(研修コーディネーターが企画調整を行う研修)

(1) 第1回メンター集合研修(小学校対象) 7/28(金)午前予定

- ・1学期メンター会の成果と課題、今後の予定等

(2) 第2回メンター集合研修(小学校対象) 12/26(火)午前予定

- ・2学期メンター会の成果と課題、今後の予定等

6. その他

※中学校は部活動等への対応があるため、研修参加等については在籍校長及び研修コーディネーターと協議のうえ決定する。

※初任者用 OJT マニュアルを電子データで各校に配付し、学校での若年教員指導に活用してもらう。

7 香南市教育研究所設置条例

平成 18 年 3 月 1 日

条例第 86 号

(設置)

第 1 条 香南市は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 30 条の規定に基づき、香南市教育の振興を図るため、教育研究所を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 教育研究所の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 香南市教育研究所

位置 香南市野市町西野 2706

(事業)

第 3 条 研究所は、保育所、幼稚園及び学校並びに教育研究団体その他の協力を得て、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 保育及び教育原理、思潮及び制度の研究
- (2) 保育計画及び教育計画の調査研究
- (3) 保育及び教育内容並びに方法の研究
- (4) 保育所職員及び教職員の研修助成
- (5) 教育測定及び教育評価等の調査研究
- (6) 教科書、教材教具及び教育資料の調査研究
- (7) 教育相談の業務
- (8) 特別支援教育の調査研究
- (9) その他必要な事業

(職員)

第 4 条 研究所に、所長及び必要な職員を置くことができる。

(委任)

第 5 条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 22 年 9 月 24 日条例第 25 号)

この条例は、公布の日から施行する。

8 香南市教育研究所設置条例施行規則

平成 18 年 3 月 1 日
教育委員会規則第 20 号

(目的)

第1条 この規則は、香南市教育研究所設置条例(平成 18 年香南市条例第 86 号。以下「条例」という。)の施行に関して必要な事項を定めることを目的とする。

(運営方針)

第2条 香南市教育研究所(以下「研究所」という。)は、次の点に重点を置いて運営する。

- (1) 香南市立保育所、幼稚園、小学校及び中学校と密接に連携しながら調査研究及び事業等を行う。
- (2) 香南市の教育課題解決に必要な情報収集に努め、保育経営及び教育経営、教育実践はもとより、生涯学習社会の形成にも役立つ調査研究活動を行う。
- (3) 香南市の保育、学校教育及び社会教育の資質向上に資する情報等の収集整理とその提供・活用体制の充実に努める。

(分掌事務)

第3条 研究所の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 研究員に関すること。
- (2) 保育及び教育原理、思潮及び制度の研究に関すること。
- (3) 保育計画及び教育計画の調査研究に関すること。
- (4) 保育及び教育の内容並びに方法の研究に関すること。
- (5) 保育所職員及び教職員の研修並びにその助成に関すること。
- (6) 教育測定及び教育評価等の調査研究に関すること。
- (7) 研究会、講演会等の開催に関すること。
- (8) 研究所報及びその他の印刷物の編集及び発行に関すること。
- (9) 保育及び教育相談に関すること。
- (10) 障害児等の就学指導に関すること。
- (11) 特別支援教育の調査研究及び指導に関すること。
- (12) その他保育及び教育研究に関すること。

(研究員)

第4条 研究所に、香南市共通の教育実践上の諸問題に関する調査研究を行うため、研究員を若干名置くことができる。

(研究員の委嘱)

第5条 研究員は、香南市立学校に在職する教職員及び香南市に在職する職員の中から、選考により教育長が委嘱する。

2 研究員を委嘱する期間は、1年とし、毎年度 4 月 1 日から当該年度の末日までとする。ただし、教育長が必要と認めたときは、1年に限りその期間を延長することができる。

(研究員の選考)

第6条 研究員を志望する者は、所長が定める手続に従い、当該年度の研究員願書を、所属長及び所長を経由して、教育長に提出しなければならない。

2 香南市内の教育団体は、当該団体が推薦する者を研究員に委嘱するよう、所長の定める手続に従い、教育長に申し出ることができる。

3 前2項の規定による志望者及び推薦者を対象として、所長の推薦により教育長が選考する。

(研究員の任務)

第7条 研究員は、所長の指示に従い、条例第4条に規定する調査研究を行うほか、次の各号に掲げる事項を、その任務とする。

(1) 研究の経過を当該年度の間中に報告し、その成果を年度末に文書によって発表すること。

(2) 所長が毎月1回招集する研究員の定例会及び所長が必要と認めて招集する臨時会に出席して、研究討議を行うこと。

(指導主事等)

第8条 研究所に、保育及び教育実践上の諸問題に関する特命事項について調査研究及び指導を行うため、指導主事等を置くことができる。

(運営委員会)

第9条 研究所の適切な運営を図るため、所長の諮問機関として、香南市教育研究所運営委員会(以下「運営委員会」という。)を置き、委員若干名をもって組織する。

2 運営委員会の委員は、所長の推薦により教育長が委嘱し、その任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。

3 運営委員会に、委員の互選によって委員長を置く。

4 運営委員会の会議は、必要に応じて開催し、委員長がこれを招集する。

5 運営委員会の庶務は、研究所において処理し、経費等に関するものについては、学校教育課において処理する。

(その他)

第10条 この規則に定めるもののほか、研究所の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成22年9月1日教委規則第10号)

この規則は、公布の日から施行する。

9 香南市教育研究所沿革史

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条の規定に基づき、香南市教育の振興を図るため、「香南市教育研究所」が平成18年3月1日に設置された。

【沿革】

年度	役職	氏名【所属】	職務、担当、テーマ等
平成18年度 (2006年度)	所長	前田雄二郎	総括・教育支援センター森田村塾長
	研究員	楠目 真美【佐古小】	不登校・不登校傾向児童生徒へのかかわり方～カウンセリングの技法を活かして～の研究
	研究員	西内 美紀【夜須小】	基礎学力の定着と学力の向上を図るために～効率のよい校内研修の在り方を探る～の研究
	在校研究員	矢田 敦之【佐古小】	算数不安の構造及びこれに対する支援に関する研究～教材の工夫に焦点をあてて～
	在校研究員	高橋 歩【香我美小】	一人ひとりが生き生きと輝ける、居心地のいい学級をめざして～Q-Uを活用した学級活動～の研究
	在校研究員	北本 賢治【野市中】	野市中学校における情報機器の整備・運用の方法についての研究
平成19年度 (2007年度)	所長	前田雄二郎	総括・教育支援センター森田村塾長
	研究員	西内 美紀【夜須小】	基礎学力の定着・学力の向上を図るために～子どもの自発的な学びのプロセスを考えた授業づくり～の研究
	研究員	川島 三和【野市中】	不登校生徒に対する対応の在り方～実態把握とチーム支援～の研究
	在校研究員	楠目 真美【佐古小】 野嶋 美穂【佐古小】	「Q-Uアンケート」を活用した学級経営の研究
	在校研究員	岡崎 和夫【佐古小】	表計算ソフト「エクセル」を使った算数プリントの作成とその活用
平成20年度 (2008年度)	所長	前田雄二郎	総括・教育支援センター森田村塾長
	副所長	岡村 裕子	香南市教育委員会学校教育課指導主監
	研究員	川島 三和【野市中】	不登校生徒に対する対応の在り方～小中連携として～
	研究員	北川 倫世【野市小】	特別な教育的ニーズを持つ児童の支援について～児童理解の視点と効果的な支援方法を探る～の研究
	スクールソーシャルワーカー	竹倉 美智	教育支援センター森田村塾
	特別支援教育支援員	徳橋 美希	特別支援教育支援員
	在校研究員	岡崎 和夫【佐古小】	表計算ソフト「エクセル」を使った算数問題プリント作成ファイルの作成と活用
平成21年度 (2009年度)	所長	宮地 憲一	総括
	参事	時久 恵子	香南市教育支援センター森田村塾長

	副 所 長	岡村 裕子	香南市教育委員会学校教育課指導主監
	研 究 員	北川 倫世【野市小】	特別支援教育学校コーディネーターを中心にした小学校における教育支援体制づくりの研究
	研 究 員	藤島 令子【赤岡中】	不登校に関する課題解決に向けての支援の在り方の研究 ～小中連携・連続性のある取組を通して～
	研 究 員	堅田 三佳【香我美中】	コミュニケーション能力を高めるための小学校外国語活動と中学校外国語科の連携の研究
	特別支援教育支援員	徳橋 美希	特別支援教育支援員
平成 22 年度 (2010 年度)	所 長	宮地 憲一	総括
	参 事	時久 恵子	香南市教育支援センター森田村塾長
	副 所 長	小松 泰樹	香南市教育委員会学校教育課指導主監
	就学前教育指導主	井上 桂子	保育所及び幼稚園支援
	研 究 員	藤島 令子【赤岡中】	不登校に関する課題解決に向けての支援の在り方～小中連携・連続性のある取組を通して～の研究
	研 究 員	堅田 三佳【香我美中】	外国語を通じてコミュニケーション能力を高めるための小学校と中学校の連携の研究
	研 究 員	井上 雄二【赤岡小】	保幼小中連携の在り方に関する研究 ～「連携カリキュラム」の実践を通して～
	特別支援教育支援員	森本 美希・森 由美	特別支援教育支援員
平成 23 年度 (2011 年度)	所 長	宮地 憲一	総括
	参 事	井上 桂子	香南市教育支援センター森田村塾長
	副 所 長	小松 泰樹	香南市教育委員会学校教育課指導主監
	就学前教育指導主	田村 敬子	保育所及び幼稚園 指導・支援
	研 究 員	井上 雄二【赤岡小】	保幼小中連携の在り方に関する研究 ～「連携カリキュラム」の実践を通して～
	研 究 員	三木 満喜【香我美中】	特別支援教育の視点を活かした個・集団への理解と支援のあり方 ～子どもの心を理解し適切な支援をするために～
	在校研究員	堅田 三佳【野市小】	コミュニケーション能力を高めるための小学校と中学校の外国語教育の連携
	特別支援教育支援員	森 由美	特別支援教育支援員
平成 24 年度 (2012 年度)	所 長	宮地 憲一	総括
	副 所 長	北川 倫代	香南市教育委員会学校教育課指導主監
	就学前教育指導主	田村 敬子	保育所及び幼稚園 指導・支援

	研究員	三木 満喜【香我美中】	特別支援教育の視点を生かした個・集団への理解と支援の在り方 ～子どもの心を理解し適切な支援をするために～
	研究員	山嵯 弥生【赤岡小】	保幼小中連携に関する研究 ～「連携カリキュラム」の実践を通して～
	在籍研究員	堅田 三佳【野市小】	コミュニケーション能力を高めるための小学校と中学校の外国語教育の連携
平成 25 年度 (2013 年度)	所 長	西岡 祝子	総括
	副 所 長	三木 満喜	香南市教育委員会学校教育課指導主監
	研 究 員	濱崎 郁代【香我美小】	特別な教育的ニーズを持つ児童の支援について ～児童の心を理解し適切な支援方法を探る～
	研 究 員	山嵯 弥生【赤岡小】	保幼小中連携の在り方に関する研究
	生活・学習支援員	鈴木加代子	小学校外国語活動支援
平成 26 年度 (2014 年度)	所 長	西岡 祝子	総括
	副 所 長	三木 満喜	香南市教育委員会学校教育課指導主監
	研 究 員	濱崎 郁代【香我美小】	特別な教育的ニーズを持つ児童の支援について ～学習に向かうことができる体づくりを通して～
	研 究 員	大久保裕史【岸本小】	保幼小中と家庭・地域が連携した道徳教育の推進
	生活・学習支援員	鈴木加代子	小学校外国語活動支援
平成 27 年度 (2015 年度)	所 長	西岡 祝子	総括
	副 所 長	三木 満喜	香南市教育委員会学校教育課指導主監
	研 究 員	山岡 誠【吉川小】	温かい人間関係を育む学級づくりを通して不登校を未然に防ぐ
	研 究 員	大久保裕史【岸本小】	保幼小中と家庭・地域が連携した道徳教育の推進
	生活・学習支援員	鈴木加代子	小学校外国語活動支援
平成 28 年度 (2016 年度)	所 長	西岡 祝子	総括
	副 所 長	関田 昭博	香南市教育委員会学校教育課指導主監
	研 究 員	宮村 知章【佐古小】	学校と家庭・地域が連携した効果的な学力向上の取組
	研 究 員	山岡 誠【吉川小】	温かい人間関係を育む学級づくりを通して 不登校を未然に防ぐ手立てのあり方に関する研究 ～不登校の未然防止や初期対応に関する研究を中心にして～
	生活・学習支援員	鈴木加代子	小学校外国語活動支援

平成 29 年度 (2017 年度)	所 長	西岡 祝子	総括
	副 所 長	関田 昭博	香南市教育委員会学校教育課教育企画監
	研 究 員	岡松 理恵【吉川小】	不登校を未然に防ぐ手立ての在り方に関する研究 ～特別支援教育の視点を取り入れた環境作りと連携の方法を探る～
	研 究 員	宮村 知章【佐古小】	保幼小中・家庭・地域連携(一貫)教育に関する効果的な学力向上の取組 ～家庭や地域と連携した教育の推進に向けて～
	生活・学習支援員	鈴木加代子	小学校外国語活動支援
平成 30 年度 (2018 年度)	所 長	西岡 祝子	総括
	副 所 長	関田 昭博	香南市教育委員会学校教育課教育企画監
	研 究 員	上田 恭子【香我美小】	連携から学力を考える ～学ぶことを支えるための具体的な取組についての考察～
	研 究 員	岡松 理恵【吉川小】	不登校を未然に防ぐ手立ての在り方に関する研究 ～特別支援教育の視点を取り入れた環境作りと連携の方法を探る～
	生活・学習支援員	鈴木加代子	小学校外国語活動支援
平成 31 年度 令和元年度 (2019 年度)	所 長	西岡 祝子	総括
	副 所 長	細川 健次	香南市教育委員会学校教育課指導監
	研 究 員	濱田 久司【野市小】	不登校を未然に防ぐ手立てとあり方の研究 ～温かい人間関係を育む全員参加の授業づくり～
	研 究 員	上田 恭子【香我美小】	連携から学力を考える ～学ぶことを支えるための具体的な取組についての考察～
	生活・学習支援員	鈴木加代子	小学校外国語活動・外国語並びに中学校英語の支援
	副読本作成 アドバイザー	中澤 牧生	小学校社会科副読本「香南のくらし」(第4版)作成
令和 2 年度 (2020 年度)	所 長	西岡 祝子	総括
	副 所 長	細川 健次	香南市教育委員会学校教育課指導監
	研 究 員	藤戸 仁美【野市中】	保幼小中の連携から学力向上につなげる研究 ～つながりを深め、自分の思いや考えを発信できる授業づくり～
	研 究 員	濱田 久司【野市小】	不登校を未然に防ぐ手立てとあり方の研究 ～主体的で関わり合いのある全員参加の授業づくり～
	教育推進アドバイザー	鈴木加代子	小学校外国語活動・外国語並びに中学校英語の支援
	副読本作成 アドバイザー	中澤 牧生	小学校社会科副読本「香南のくらし」(第4版)作成
令和 3 年度 (2021 年度)	所 長	西岡 祝子	総括
	副 所 長	細川 健次	香南市教育委員会学校教育課指導監

	研究員	瀬尾 公輔【野市小】	不登校を防ぐ！人！台端末の活用の仕方の研究 ～子どもたち一人ひとりが活躍できる授業づくり～
	研究員	藤戸 仁美【野市中】	保幼小中の連携から学力向上につなげる研究 ～小学校での Small Talk を、中学校英語授業の言語活動につなげる授業づくり～
	教育推進アドバイザー	鈴木加代子	小学校外国語活動・外国語並びに中学校英語の支援
	香南市小学校社会科副読本等編集コーディネーター	竹村 栄夫	小学校社会科副読本「香南のくらし」等の編集に関するコーディネート
令和4年度 (2022年度)	所長	小松 泰樹	総括
	副所長	細川 健次	香南市教育委員会学校教育課指導監
	研究員	瀬尾 公輔【野市小】	不登校を防ぐ！人！台端末の活用の仕方の研究 ～子どもたち一人ひとりが活躍できる授業づくり～
	研究員	松井 理絵【野市小】	保幼小接続の充実を目指して ～幼児期から児童期への学びをなめらかにつなぐ～
	教育推進アドバイザー	鈴木加代子	小学校外国語活動・外国語並びに中学校英語の支援
	香南市小学校社会科副読本等編集コーディネーター	難波 成行	小学校社会科副読本「香南のくらし」等の編集に関するコーディネート
令和5年度 (2023年度)	所長	小松 泰樹	総括
	副所長	細川 健次	香南市教育委員会学校教育課教育企画監
	研究員	松井 理絵【野市小】	保幼小接続の充実を目指して ～幼児期から児童期への学びをなめらかにつなぐ～
	研究員	今井 悠介【野市東小】	課題予防的生徒指導への ICT の効果的な活用に関する研究 ～ タブレット端末を活用した認知能力向上に向けた支援を中心として ～
	教育推進アドバイザー	鈴木加代子	小学校外国語活動・外国語並びに中学校英語の支援
	香南市小学校社会科副読本等編集コーディネーター	難波 成行	小学校社会科副読本「香南のくらし」等の編集に関するコーディネート



香南市教育研究所

〒781-5292 香南市野市町西野 2706 番地

電話番号:0887-50-3023

FAX 番号:0887-50-3020

E-mail:kyouiku-kenkyu@city.kochi-konan.lg.jp

U R L:<https://sites.google.com/g.kochinet.ed.jp/konanshi->